

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年7月25日(17:30~18:00)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 花島 杉浦 三須 小柳 松本 信田 大竹 吉村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	8人	0人	0人	8人

前回の改善計画	利用開始までに必要な情報をわかり次第発信し知り得た情報を、LINEWORK の活用し写真等を使いわかりやすく情報発信し職員間の情報共有・コミュニケーションを図っていけるように努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用開始までに必要な情報を利用台帳・ADL表・写真等を使用してLINEWORKS で都度変更を行ないながら情報共有をおこなってきているが、ケアプランを全職員で事前に回覧するところまでには至っていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?		8			8
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		8			8
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	1	7			8
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?		8			8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
本人を支えるために、家族との情報共有や何に困っているのか、本人の意向や解決すべき課題について職員間で情報共有行えている。支援している中でも情報を引き出し希望に添える支援ができています。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
ケアプランを事前に全職員で回覧できないかった。緊急での利用等もあり作成を急に行って全職員で回覧するまでの時間がとる事が難しかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
利用開始までに必要な情報をわかりやすく写真等を活用していくと共に関係づくりのため、声掛け・気づかいなど配慮し支援していくとともに、緊急受け入れ等のご利用者さんのケアプランについてはLINEWORKS で事前回覧できるようにして情報共有し個々の支援に取り組んでいく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年8月23日(17:30~18:00)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 花島 杉浦 三須 小柳 松本 信田 大竹 吉村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	7人	人	人	8人

前回の改善計画	対話を通して、希望や思いを汲み取りご家族の意向を確認しながら希望が叶えられるように職員一人一人がご利用者個々の機微に触れることができるように意識していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	日々の対話などを通して希望や思いを汲み取り、ご本人やご家族の意向を確認し希望が叶えられるように努めている

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	1	7			8
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	2	6			8
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	6	1		8
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	7			8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者の個々の変化に気づいた時は自己解決せずに報告・相談するようにしている。ご本人の目標に対して日々の関わりの中で支援内容の確認や会議等においてプランの見直しや支援内容について発言し対応や支援に活かせる事が出来ている	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
高齢の方の発言の真意をつかめず、独居への不安や知人の安否など表面化していない部分に対して、日々の業務の忙しさの中で、利用者さんの心の機微にうとく、向き合っていくことが難しかったことがあった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
対応を通して希望や思いをくみ取れる感性を磨いていくとともに、ご家族の意見や情報もいただきながら職員一人ひとりがご利用者の思いを意識して不安等の気持ちに寄り添える様に努めていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年8月23日(17:30~18:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 花島 杉浦 三須 小柳 松本 信田 大竹 吉村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	7人	人	人	8人

前回の改善計画	本人や家族から情報収集したことは職員個々で抱えてしまうのではなく、LINEWORKS等のコミュニケーションツールを活用して情報共有してしていく共に、情報が投げっぱなしになっていないか、逆に受け取り損ねたものはないか、意識しながらチーム全体で共有の認識のもとケアができるように取り組んでいきます。
前回の改善計画に対する取組み結果	ご家族からの情報をLINEWORKSを活用し、情報共有に努めチーム全体でケアに取り組むことができました。情報が多く細部まで記憶できなくても見直せるのでよかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	6	1		8
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	1	7			8
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		7	1		8
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	6			8
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	6			8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
本人にあった基本的な介護支援を行い本人の思いを聞き取り、その都度情報を共有し、個々の利用者の思いに寄り添うように心がけている。 各企画についても誕生日・外出等即時に活かして対応を行なっている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
個々の情報量が多く、個別に整理して全体的な把握に繋げられるような取り組みまでには至っていないため、情報の見落としなどが起こってしまっている。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
本人・家族から情報収集したことは、職員個々で抱えてしまうのではなく、LINEWORKSを活用して情報共有していきと共に情報を見落とさない様にアップした職員は閲覧確認や日々の会話での声掛け・会議録への掲載及び閲覧確認を行いチーム全体でケアが円滑に行なえるように取り組んでいく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年9月27日 (15:00~15:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 花島 杉浦 三須 小柳 松本 信田 大竹 吉村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	7人	1人	人	8人

前回の改善計画	在宅生活で何に困っているのか、それに対する地域資源の活用には何が考えられるのかといった点と意識し、地域資源マップの作成をおこない地域での暮らしを支援していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	在宅生活で何に困っているのか家族や訪問した職員と連携して、情報共有し早期に対応することに努めている。地域資源マップは作成中であるが地域資源の活用については行っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		7	1		8
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	6			8
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	7			8
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		6	2		8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること アセスメントや利用者台帳、家族からの情報を通して生活スタイル・人間関係など把握しており、個人情報に配慮しながら職員間で共有できている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 地域の情報が日々変化の中で、地域資源マップにおける情報の編集中と追加等の作業が頻回で完全版としての作成までには至っていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 本人の生活スタイル、人間関係・地域との関係などが切れないようにするため引き続き地域資源の活用をしてご利用者の地域での暮らしの支援していく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年9月27日(17:30~18:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 花島 杉浦 三須 小柳 松本 信田 大竹 吉村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	7人	人	人	8人

前回の改善計画	目で見えてわかる体重増減や排泄などに関する様子など普段と異なる部分の記録記載からその日の様子から察する事の出来る状態(お話しがしたそう・あまり元気がない・声のトーンや表情など)なども記録に記載し、どの職員でも変化に気づけるよう情報収集及び共有し支援していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	日々の関わりから普段と異なる部分の記録をし口頭でも伝える様にしています。体重増減については多職種会議や管理栄養士と情報を共有している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	7			8
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	6			8
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?		7	1		8
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1	7			8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 地域資源である、包括主催「いきいき体操・ラジオ体操・元気体操」勝田台公民館「コグニサイズ」八千代市ふれあい大学などをプランに入れ利用者支援がおこなえた。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 現在、会議や日々LINEWORKSにて職員間で情報共有をはかっているが、事実なのか、個々の職員の解釈なのがわかりにくくなっている。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 伝達・記載の方法として、事実と個々の解釈は明確に区分して伝えていくようにしていく共に、目的を職員間で共有することでご利用者の状態変化等に気づき、柔軟にサービスを提供して支援にあたる。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年10月29日(16:30~17:00)

6. 連携・協働

メンバー 花島 杉浦 三須 松本 小柳 大竹 信田 吉村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	7人	人	人	8人

前回の改善計画	自治会等の地域のイベントの積極的に参加していく。地域の方から身近にある親しみやすい施設になれる様、コミュニケーションを図っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域のイベントには積極的に参加できるように努めました。地域の方との挨拶やコミュニケーションが図れるよう自治会会議やゴミ拾いへの参加を行ないました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?		7	1		8
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	2	6	0		8
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	1	6	1		8
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?		8	0		8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
地域会報の作成の協力や定例の駅前清掃等の活動に参加、事業所の消防訓練も管理組合の協力のもと実施できています。イベント数が少なくなりましたが、情報収集の努力を行ない、ボランティアで来訪する方や施設外でお会いする方へ挨拶を行うことが出来ました。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
サービス機関との会議は、計画作成担当が会議に出席しているが、会議の内容が共有出来ていないことがあった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
自治会等の地域のイベントに積極的に参加して、地域の方と挨拶やコミュニケーションを図っていく。サービス機関・地域包括支援センターとの会議は、内容周知できるよう LINEWORKS への発信や事業所の会議を設定し、伝達研修を行なっていく。地域の活動を職員全員が意識して取り組めるように、駅前清掃を職員で輪番制にする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年10月29日(17:00~17:30)

7. 運営

メンバー 花島 杉浦 三須 松本 小柳 大竹 信田 吉村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	7人	1人	人	8人

前回の改善計画	事業所全体としての視点を持ち、事業所がよくなるように職員一人ひとりが意見をもち会議で発言しやすいようにしていく。業務の時間の配分がうまくいかない時は、他職員に声掛けを行ない協力し業務を行なっていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	会議に出席できる職員が決まってきている。業務の時間の配分がうまくいかない時は、協力し業務を行なう事が出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?		6	2		8
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	7			8
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	7			8
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?		7	1		8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 意見や要望、苦情などは送迎時や自宅訪問時、連絡ノートなどから本人や家族から直接話を伺うことが出来、職員間でLINEWORKSや申し送りにて情報共有し、運営に反映させることができている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 会議に出席できる職員が同じ職員になる事が多いが、参加できない職員の意見の吸い取りが不十分となってしまった。事業所内での会議(意見交換)の場を設けることが少なくなってしまう。コロナ禍であり、地域と協働した取り組みが以前と比べると少なくなってしまう。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 業務の流れについて見直しをかけ、業務に偏りや負荷がかからないように、事業所内での会議の場を作る。委員会や業務担当、利用者検討議題を事前に明確にしておき、会議での意見交換を行なう。会議は全員参加できるよう八千代台事業所の協力を得て、毎月固定の1日を決め、日中30分ほどZOOMも用いて実施していく。 地域に必要とされる拠点であるために、事業所の活動なども広く知っていただけるよう広報にも努め、自治会の会議やイベントに参加し交流の機会を増やす。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年11月24日(16:30~17:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 花島 杉浦 三須 松本 小柳 大竹 信田 吉村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	6人	1人	人	8人

前回の改善計画	研修に参加してスキルアップに努めていく。研修で配布されたレジメや資料をLINEWORKSにあげ、職員間で共有を図っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	研修に参加、研修で配布されたレジメや資料はLINEWORKSに添付されているので、各職員のスキルアップに繋げることが出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	1	6	1		8
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		7	1		8
③	地域連絡会に参加していますか	1	6	1		8
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		8			8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
研修(職場外)に申し込みを行い参加、多機能会議で研修(職場内)に参加しています。リスクマネジメントに取り組み、多職種部門(理学療法士、看護師、管理栄養士)と協働して、事故の再発防止や対策などリスクマネジメント会議で本人の要因・職員要因・環境の要因の分析を検討し、多機能会議で事故の分析・再発防止策を報告しています。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
多機能会議で行われている研修に参加できないことがありました。そのときは会議前にLINEWORKSに添付されている研修資料を参照して情報の共有に努めています。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
個々のスキルアップの為に研修に参加していく。研修に参加できなかった職員はLINEWORKSに添付されている研修資料を参照して知識を増やしていく。ヒヤリハット報告書をあげて、事故に繋がらないように事例の検証(リスクマネジメント会議で検討)を行い、多機能会議にて事故の分析・再発防止策の報告を行い、職員間で情報共有していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年11月24日(17:00~17:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 花島 杉浦 三須 松本 小柳 大竹 信田 吉村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	7人	1人	人	8人

前回の改善計画	会話や電話対応の際、声の大きさ・話をする場所に配慮し内容が分からない様に工夫していく。難聴の方に対して必要な時、筆談を用いてプライバシーや個人情報の保護できるよう努めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	難聴の方に対しては筆談を用いて他の方に個人情報が聞こえないようプライバシーの配慮に努めました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	3	5			8
②	虐待は行われていない	3	5			8
③	プライバシーが守られている	1	7			8
④	必要な方に成年後見制度を活用している		8			8
⑤	適正な個人情報の管理ができている	3	5			8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
身体拘束・虐待は、定期的な研修で学び理解してサービス提供を行なっています。プライバシーの保護は、職員間で声をかけ合い職員全員が意識した取り組みを徹底しました。個人情報の管理は施錠付きのキャビネット内で保管して鍵の管理も行いました。成年後見制度の必要な方には手続きの方法などの説明を行なうことが出来ています。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
電話対応などで、ご利用者への配慮が不足したことがあった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
電話に限らず、職員間の業務伝達は声の大きさや内容に注意し、個人情報の取扱いに意識を持つ。声の大きさがご利用者に影響のないよう、サービス(レク内容やご利用者との会話)も充足させていく。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 翠燿会	代表者	理事長 津川恵美子	法人・ 事業所 の特徴	本体事業所（小規模多機能型居宅介護グリーンヒル八千代台）とサテライト型事業所（小規模多機能型居宅介護サテライトグリーンヒル勝田台）一体的なサービスを提供することでご利用される方々が安心して身近な地域でサービスを利用し、馴染みの地域や関係を断ち切らず生活を送れるように支援していきたいと考えています。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 サテライトグリーンヒル 勝田台	管理者	大竹 暁		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	1人	2人	0人	1人	1人	0人	2人	1人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	住み慣れた地域でいつまでも暮らせるよう利用者の能力や希望や目的に合わせて多職種多様な手段で総合的な支援を行なっていく。今後も医療機関と連携、職員同士の情報共有に努め、利用者を支援していく。	個々の能力や生活力や希望や目的をアセスメントして支援内容を提案、また多職種協働を行ない支援に繋げることが出来ました。ラインワークスや申し送り等で職員同士の情報共有を行なうことが出来ました。	コロナ禍において、スタッフ全員がオンラインを十分に活用して、スタッフ間の連絡を密にして、改善計画が達成可能なものに立案されていると推察する。	利用者の能力や希望や目的に合わせて多職種多様な手段で住み慣れた地域でいつまでも暮らせるよう、総合的に支援を行い、医療機関等と連携、職員同士の情報共有（オンライン活用等）を行い、ご利用者の支援していく。
B. 事業所のしつらえ・環境	季節を感じられる製作を利用者と協働し、安心できる環境作りを行っていく。感染症対策を徹底しながら、室内環境の安定を図る。	季節を感じられるよう、ご利用者と一緒に小物等の製作を行ない、事業所内に飾り、そのあと自宅に持ち帰られ、喜ばれていました。手洗い・うがい、換気、消毒を行い、感染症予防に努めました。	旧来と比較して、玄関ドアをカガムにして、採光ガラスを取り付ける等工夫をしている。狭いドアながら利用者の皆様が入りやすいように改善された。日頃の感染症対策は大変かと思いますが季節感等に配慮しながら室内環境を整える工夫が見られます。	ご利用者と一緒に四季を感じられる製作を行うとともに、今後も感染症対策・衛生管理を適切に行い、安心と安全な空間を提供できるようにしていく。
C. 事業所と地域のかかわり	サコーポ 勝田台自治会と共に環境美化活動や地域主催イベントに出来る限り参加していく。作品展の開催や自治会会報への発行を継続していく。	環境美化活動に参加、自治会会報発行を地域の方々と一緒にすることが出来ました。今年度は勝田台ステーションギャラリー展に参加することが出来ませんでした。	事業所が地域への理解についてはサコーポの方々の理解は得られていると思いますが、勝田台圏域全体にはまだと思います。利用者一人一人の対応実績が地域の評価につながり、相談しやすい窓口になるのではないかと思います。	地域の方々との関わりを大切に、地域主催イベントへ参画・作品展開催・体操、料理サークル活動の継続と新たな地域サークル活動へ協同して行く。今後もサコーポ 勝田台自治会と共に環境美化活動に参加、自治会会報への発行を継続して協働していく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域包括支援センター作成の資源マップを活用し、利用者の暮らしの支援として、自治会に参加し、地域の状況を理解していく。	地域資源マップを活用し、ご利用者の暮らしの提案が出来、支援することが出来ました。引き続き、ご利用者にとって必要なニーズの変化に対応できるようコロナ禍での地域資源の変化を把握していきたいと思っています。	本年度もコロナ禍により活動が大幅に制限されたが、地域の包括支援センターと連携して事業活動を展開している。地域包括と連携しながら資源マップを活用し「いきいき教室」や中央公園での体操参加など地域交流を図る機会ができてきました。	資源マップを活用し「いきいき教室」や中央公園での体操・公民館サークルなどをご利用者に提案していく。ご利用者の暮らしの支援として、自治会に参加し、地域の状況を理解し新たな地域サークル活動の提案をし地域で暮らしを支える取り組みをしていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議を開催し、事業所の取り組みを報告していく。事例検討を実施し、地域課題について、地域包括支援センターや関係機関と協働して改善に努めていく。	事業所の取り組みを報告し、年2回事例検討を実施することができ、委員会の皆さんから助言をいただくことによって支援の幅が増えました。また地域の現状を知ることでもできました。今後も検討事項や内容を把握してご利用者に当てはめて、ご利用者への支援に繋げていきたいと思っています。	利用者が認知症になっても、まだ出来る能力を生かし、地域の方々と交流の機会をつくれぬか「地域ケア会議」へと進める事ができました。これをきっかけに住民の方が集まる場づくりへと発展出来ると思います。委員各自の意見も多様で改善の一助になれていればいいと思います・守秘義務署名については驚きました。	運営推進会議を開催し、事業所の取り組みを報告し、事例検討を実施し、認知症 BPSD（行動心理状態）やニーズを「見える化」して、誰でもできる具体的なケア計画を検討、地域の課題についても地域包括支援センターや関係機関と協働して改善に努めていく。
F. 事業所の防災・災害対策	BCPの作成の際、地域の方々の声を取り入れながら関係機関と連携し、引き続き防災訓練へ管理組合及び管理事務所に参加して頂き実施していく。また防災物品の確認を行っていく。	管理組合・管理事務所の協力の元、一緒に防災訓練を実施することが出来、引き続き地域の方々からの助言を取り入れて、連携していきたいと思っています。ご利用者の避難場所を把握して、災害等が起きた際は迅速に対応・行動ができるようにしていく。	地域の防災訓練には、コロナ禍により、避難訓練を除き自治会・八千代市自主防災会ともに中止となった。BCPを意識し、日頃の対策がされていると安心ですね。	地域の方々の声を取り入れながら、関係機関と連携し、引き続き防災訓練へ管理組合及び管理事務所に参加して頂き実施、また地域の防災訓練に参加していく。ご利用者の避難場所の把握、事業所内の防災備品の確認を行っていく。